

湯沢CS通信

令和5年5月23日 第59号
(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当

湯沢市の各学校がコミュニティ・スクールとしてスタートして4年目（先行して実施した6校は5年目）になります。これまでの成果と課題としては次のようにとらえています。

これまでの成果

- 子どもの地域貢献や地域活動（地域学習）が促進されている。
- 地域ボランティア等による教育支援活動や学校支援活動が充実してきた。

これまでの課題

- 保護者、地域住民、教職員へCSの具体像やCSのよさが伝わっていない。
- 学校運営協議会委員の皆さんが委員としての役割を十分に理解できていない。

一つ目の課題解決に向けてCS研修会を開催したり、CS通信を発行したりして周知に努めます。また、二つ目については、CS Dが学校運営協議会に参加させていただいて説明したり、CS通信を発行したりして課題解決を目指していきます。



各学校におかれましても、学校運営協議会を十分に機能させ、保護者、地域住民、教職員へCSのよさが伝わる具体的な手立てを考え、実践していただきたいと思います。

ここで改めまして、CS推進の目標を確認します。

CS推進の目標

ふるさとの「もの・ひと・こと」との関わりの中で、ふるさと湯沢に誇りを持ち、心豊かでたくましい子どもの育成

この目標を達成するために校長先生には、地域とともに解決を目指す自校の課題と「地域とともにある学校づくり」の具体を関連させて考えて学校運営協議会の議題とし、事前に司会を務める会長とじっくり話し合いを行ってから学校運営協議会の協議に臨んでいただきたいと思います。よろしく願います。

裏面に令和五年度湯沢市コミュニティ・スクール推進計画を載せていますのでご覧になってください。

今年度もこれまでと同様にコミュニティ・スクールの充実に対してご協力をお願いします。



今年度からCSディレクターに就任した中川一志です。よろしくお願いたします。



1 目標 ふるさとの「もの・ひと・こと」との関わりの中で、ふるさと湯沢に誇りを持ち、心豊かでたくましい子どもの育成

「地域とともにある学校づくり」を進め、学校と保護者、地域住民が一体となって子どもたちの健やかな成長を支援する。

2 CS導入で期待される効果

子育てに関わる学校と家庭、地域との役割分担が明確になる。

子ども・家庭

- ・多様な地域住民との活動で体験活動が充実する。
- ・多様な人的交流のおかげで人間関係が広がり、地域の中で子どもたちが育てられているという安心感をもつ。
- ・コミュニケーション能力が向上する。
- ・子どもが地域の担い手としての自覚をもつ。
- ・子どもの地域貢献や、地域活動が促進できる。

学校

- ・子どもと向き合える時間が確保できる。
- ・地域の力を生かして教育の質を上げる。
- ・学校の課題や現状を理解してもらえる。
- ・地域資源を生かした特色ある学びができる。
- ・安定した学校運営と地域との協働体制の維持・継続ができる。
- ・地域の協力を得て学校を核とした教育の仕組みができる。

地域

- ・住民や保護者が教育の当事者となり、幅広く教育活動へ参加できる。
- ・多様な層の地域住民や団体の教育活動に参画することで、地域が一層活性化する。
- ・知識や経験を生かしたボランティア活動を通じた生きがいづくりが広がる。
- ・地域全体の協力意識が深まり、人と人とのつながりが生まれ、子どもたちから元気や幸福感をもらえる。

3 これまでの成果

- 子どもの地域貢献や地域活動(地域学習)が促進されている。
- 地域ボランティア等による教育支援活動や学校支援活動が充実してきた。

4 課題と解決策

課題1

保護者、地域住民、教職員へCSの具体像やCSのよさが伝わっていない。

解決策

- ・CS研修会を開催したり、CS通信を発行したりして、CSの具体像、CSのよさを伝える。
- ・地域学校協働活動推進員との連携を通して、教員にCSのよさを実感させる手立てを考える。

課題2

学校運営協議会委員が委員としての役割を十分に理解できていない。

解決策

- ・CSディレクターが学校運営協議会に参加して説明し、周知を図る。
- ・CS通信を発行して周知を図る。
- ・研修会を開催して周知を図る(案)。